

No. 12-14

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 12 - 14

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与	8	作成日	30年 6月 9日		
事務事業名						喜び農業推進事業			
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち				課名	産業課	係名	産業振興係
		5-1 働きがいのあるまちをつくる				シート作成者			
	施策	5-1-1 農業の振興				予算費目	会計	一般	
							款	6	
主要施策	③ 地域特産物の開発				項		1		
					目		3		
個別計画名									
住民との関わり			住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）					
	農業者			農業の活性化に向けて、新たな地域の魅力づくりとして実証圃場において果樹栽培を行い、持続可能な農業形態の確立を図ります。					
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）									
果樹栽培・・・付加価値のある作物を栽培・生産することにより、農業の活性化及び農業所得の向上を図り、生産者にとって喜びのある農業が展開できるような特産品の研究を行います。									
事業期間 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 25年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし									
根拠法令・要綱等									
			平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			6,355		11,442		0		
財源内訳	国庫支出金		415		0		0		
	県支出金		0		0		0		
	地方債		0		0		0		
	その他特定財源		0		0		0		
	一般財源		0		5,502		0		
直接事業費（千円）A			415		5,502		0		
人件費（千円）B			5,940		5,940		0		
内訳	一般職員（人・千円）		0.90 人 5,940		0.90 人 5,940		0.00 人 0		
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0		
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度	
					目標	実績	（目標）	（目標）	
	①	事業実施面積		m ²	1,000	1,000	—	—	
	②								
③									
説明 実施面積を指標としています。 現在、ビニールハウスでのブドウ栽培500m ² 、液肥栽培システムでのブルーベリーポット栽培500m ² 、計1,000m ² を実証圃場として実施しています。									

事業名 喜び農業推進事業		シート作成課		産業課			
一次評価者		産業課長		二次評価者			
一次評価者		産業課長		建設部長			
評価項目の説明	チェック項目	一次	二次	一次の評価又は説明			
	必要性	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 <input type="checkbox"/> 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 <input type="checkbox"/> 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 <input type="checkbox"/> 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 国や県のサービスと重複している。 <input type="checkbox"/> 7. 民間のサービスと競合している。 <input type="checkbox"/> 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	新たな町の魅力づくりと持続可能な農業形態の確立を図ります。			
	有効性	<input type="checkbox"/> 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 <input type="checkbox"/> 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 <input type="checkbox"/> 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 <input type="checkbox"/> 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	付加価値のある農産物を生産することで、農業の活性化及び農業所得の向上に繋がります。			
	達成度	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 <input type="checkbox"/> 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標を達成していると思う。 <input type="checkbox"/> 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	植えつけた苗木が順調に成育し、果実を収穫することができ、一定の効果が得られた。			
	効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 <input type="checkbox"/> 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 <input type="checkbox"/> 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 <input type="checkbox"/> 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 <input type="checkbox"/> 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	観光農園・6次産業化を目指します。			
本事務事業の実施適切性の説明							
自立した農業経営や農業の活性化を図ることを目的とし、農業を収益産業として位置付け、本町のブランド作物として売り出していけるよう取り組みます。							
一次評価	評価	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 B A D C	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
	今後の改革・改善目標	平成29年度にブドウ・ブルーベリーとともに果実を収穫することができ、一定の成果が得られたことから、平成30年度から町内の若手を中心とする法人に管理運営を移行し、本町のブランド作物となるよう連携を図り取り組んでいく。					
二次評価	評価	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 B A D C	
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
	コメント	平成30年度からは、町内の若手農業者を中心とする法人に管理運営を移行するため、栽培技術や病害虫に対する防除方法など、生育管理について引継ぎを行い、本町のブランド作物となるよう連携した取り組みが必要である。					
二次評価に対する課の考え							
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から				

実施計画書

(企画調整委員会、オータムレビュー用)

喜び農業推進事業

事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）

H30	事業費(千円)	0	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	0
-----	---------	---	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	------	---

平成30年度からは、町内の若手農業者を中心とする法人に管理運営を移行するため、栽培技術や病害虫に対する防除方法など、生育管理について引継ぎを行い、本町のブランド作物となるよう栽培面積の拡大に取り組んでいただく。しかしながら、栽培面積の拡大には、資金調達や農園運営方法等に、様々な課題があり、今後においても支援、連携を図り取り組む必要がある。

H31	事業費(千円)	0	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	0
-----	---------	---	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	------	---

H32	事業費(千円)	0	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	0
-----	---------	---	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	------	---

H33	事業費(千円)	0	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	0
-----	---------	---	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	------	---